

第2回鳥取市移動等円滑化協議会 意見及び対応一覧

開催日 令和4年2月16日～2月18日

出席者 鳥取市移動等円滑化協議会委員 34名中27名

●議題1：鳥取市のバリアフリーの現状について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
公共交通 (昇降機)	・昇降機（エレベーター・エスカレーター）の設置がなされたら、皆さん色んな人々の方が助かります。楽しみにしております。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
公共交通 (鉄道全般)	・未設置の施設については、国の整備基準に基づき、当社施策との整合を図りながら整備を実施していく。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、協議調整をよろしく願います。
公共交通 (JR改札口)	・鳥取駅改札口については、平成22年度にガイドラインに沿った車いすが通行できるよう幅員に整備を実施している。	→鳥取駅の改札口の幅については、「改良済み」へ修正いたします。
	・P1 鳥取駅の改札口→幅員未改良は幅を満たしていないのか。	
公共交通 (JR改札口)	・P1 自動改札未設置→バリアフリーの位置づけは。	→「公共交通機関の旅客施設に関する移動等円滑化整備ガイドライン(国交省 令和4年3月)」において、自動改札機を設ける場合のガイドラインは示されていますが、自動改札機の設置(導入)自体の基準等はありません。よって、バリアフリーの現状では、自動改札機の項目を削除いたします。
	・鳥取駅入口、バスターミナル入口には音声ガイドが設置されていると思います。	→ご指摘の通りに修正いたします。
公共交通 (情報案内)	・調査対象について、情報面が点字案内板のみで、きこえない人々への情報のバリアについての視点が欠けている。	→ご指摘の通り、整理項目を追加いたします。
	・鳥取バスターミナルでは「自動ドア」や「音声案内」の現状について分析をされているが、鳥取駅における「自動ドア」や「音声案内」についての整備状況はどうか。公共交通に関するバリアフリーの現状の整理ということであれば、駅もバスターミナルも同じ視点で分析、整理が必要ではないか。	→ご指摘の通り、整理項目の統一を図ります。
公共交通 (まとめ方)	・P1 その他の駅 駅名を入れてください。点字案内板とトイレの一部のみとはどこを指しているか。	→ご指摘の内容について、修正いたします。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
道路空間 (まとめ方)	・【鳥取駅北エリア】→範囲が不明確。	→エリアが分かるように表示します。
道路空間 (質問)	・【鳥取駅北エリア】→歩道の傾斜：基準を満たしていないのか。水が溜まりやすい→平坦性がとれていないのか。誘導ブロック：摩耗→使えないほど摩耗しているか。 ・【鳥取市役所周辺】段差：歩道の段差が大きい→基準を満たしていないのか。	→ここで整理した問題点は、バリアフリー点検(目視)の結果に基づくものであり、その旨を記載するようにします。なお、傾斜や段差等については、基準を満たしているかどうかは、基本構想策定段階において、別途調査が必要であると考えています。
	・【鳥取駅南エリア】誘導ブロック：旧規格→更新が必要なのか。	→直ちに更新が必要ではありませんが、「道路の移動等円滑化に関するガイドライン(国交省 令和4年6月)」において、規格に整合しない視覚障害者誘導用ブロックについては、“補修を行う場合は JIS 規格に合わせたブロックに交換する”とされています。

●議題2：バリアフリーに関するアンケートの調査結果について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
アンケート 調査対象	調査対象の人数(2,000人)はどのような考え方で決められたのですか？当該アンケートの信頼水準はどの程度(何%)になりますか？	→一般的な標本調査論の公式を用いて、有意水準5%(信頼レベル95%)、許容誤差を4%で設定し、母集団(鳥取市人口)に対する必要サンプル数nを計算した結果、 $n \approx 600$ 票となり、ここで、過去の実績等から、アンケート回収率を30%と想定してアンケート配布数Nを計算すると、 $N = 600 \text{ 票} / 0.3 = 2,000 \text{ 票}$ となります。
アンケート 調査内容	設問の音声による情報案内は多くの利用者には有効であるが、聴覚障がい者には聞こえないので情報掲示板が求められる。(案内サインとは別物である。)ヒアリング調査結果の中にも触られている。 P5-6 調査項目の中に、音声案内・点字による情報案内があるが、そのほかの音声に代わる電光掲示など、聞こえない・聞こえにくい人のための見て伝える情報に関する項目がないのはなぜか。	→聴覚障がい者の立場に配慮した設問内容となっておらず、申し訳ありませんでした。今後はご指摘の通りに改めていきます。なお、今回のマスタープラン策定においては、聴覚障がい者の方々の意見はヒアリング結果を活用することとし、計画内容へ十分反映させていきたいと考えています。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
アンケート調査内容	②鉄道駅のバリアフリーの現状について、アンケートでは最寄りの駅についての設問があったが、仮に最寄り駅が鳥取駅であれば、毎日青谷駅を利用しているも青谷駅についての課題については記載できない設問となっていました。利用する駅をすべて記載できるアンケートであれば、よりの確な課題抽出が行えたと考えます。	→普段あまり鉄道を利用されない方も最寄り駅のバリアフリーの現状であれば回答しやすいと考えたためこのような設問としております。アンケートの仕様を複雑にしすぎると、回答者の負担が大きくなり、回答率にも影響を与えるため、今回のような設問内容とさせていただきます。 ご意見は今後の参考とさせていただきます。
アンケート回収率	P3.4 回収率について、他のアンケートと比較して低いのかどうか。 回答率の低さが気になります。	→一般的に、(インセンティブのない)郵送アンケート調査の回収率の目安は概ね 30%と言われております。鳥取市における過去の類似調査の実績をみると、鳥取市都市計画マスタープランにおけるアンケート調査(2014)の回収率は 33.4%、第 10 次鳥取市総合計画におけるアンケート調査(2019)の回収率は 41.8%となっております。
アンケート分析内容	駅のバリアフリー化は、各駅により水準が異なると考えます。最寄り駅毎に回答を得ているため、各駅毎の評価を行ったうえで、総合的な評価、課題の抽出をすべきだと考えます。	→駅ごとの評価(クロス集計)は既に行っております。鳥取駅にしか設置していないエレベーターやエスカレーターの整備に関しては、評価に多少の差が見られましたが、それ以外の項目には評価に大きな差が見られなかったため、全体集計結果のみを掲載させていただいております。
	P5 「評価 1 ～ 5 」→「満足～不満」に変えるべきでは。	→ご指摘の通りに修正いたします。
	評価点の最高は 2 点か。	→その通りです。
	評価点の 0.25 以下のプラス点は、どう評価すればよいのか。	→評価点は全回答者の平均点を算出しておりますので、全員が「満足」であれば 2.0、全員が「やや満足」であれば 1.0、全員が「どちらでもない」であれば 0.0、全員が「やや不満」であれば -1.0、全員が「不満」であれば -2.0 という結果になります。評価点の結果が 0.0～0.25 以下ということであれば、全体的な傾向として、「どちらでもない」に近い評価を示していることとなります。
	P6 ③鉄道駅のバリアフリーの今後の重要度の文面で後段に“高く評価”とあるが“重要視”に言い換える方がよい。	→ご指摘の通りに修正いたします。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
アンケート 分析内容	P9 路線バスのバリアフリーの現状評価について、バスに乗っていない人の評価は意味があるのか。	→バスの利用の有無(利用頻度)に関わらず、すべての方にバリアフリーの現状評価をしていただくことは重要だと考えます。
	P11 評価点は微妙な差ではないのか。全て重要視しているのでは。P6と同様、“高く評価”→“重要視”に言い換える方がよい。	→資料では、“すべての項目でプラス評価”と表現しておりましたが、“すべての項目が重要視されている”に表現を改めます。

●議題3：バリアフリーに関するヒアリング調査結果について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
ヒアリング 調査結果 (追加意見)	無人駅については、駅係員等の巡回を実施しており、みどりの窓口を閉鎖した駅に設置してある券売機はオペレーターと会話可能なものを設置している。	→「取組み状況」の項目に追加させていただきます。
ヒアリング 調査結果 (まとめ方)	P15 EV→エレベーターに修正	→ご指摘の通りに修正いたします。
	P17 関係団体とあるがどの団体からの意見か分かる方がよい。	
その他	園児を引率して、園外保育に出かけることがあります。公園のトイレに幼児用便器が設置してあったらいいと思います。また、保育士の多くが女性です。女性トイレに男児用の小便器が設置していると、周囲を気にしながら男性トイレに入ることが少なくなると思います。(実際、男児を連れて、男子トイレに入っています。)	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
	今後の計画にご利用者のご意見、ご要望を反映していくように努める。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、協議調整をよろしくお願いいたします。
	歩道橋設置箇所への横断歩道併設要望、歩行者用(音響)信号機の設置要望について、要望者・要望場所について情報提供をお願いします。	→対応いたします。

●議題4：バリアフリーに関する課題について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
課題整理 (公共交通)	障がい者→免許証を持っている時はありがたいですが、返納してからのこと、不安な点もあります。バスの乗降り、料金等（次で降りられる方はいくらです等）、言っていたりとか…	→ご指摘の内容は、課題で既に取り挙げています。今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
	駅設備のバリアフリーについては、国の整備基準に基づき整備を進めているが、現状では整備できていない駅がある。	→多くの要望が出ておりますので、今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、協議調整をよろしくお願ひします。
	待合環境については、お客様のご利用実態に合わせてベンチ等の設備を整備している。	
	P20 (1) 多言語表記も必要と思う。	→ご指摘の通りに修正いたします。
	公共交通に関する課題：待合環境の充実のバス停が危険であるとの指摘が多くとあるがヒアリング結果に載っていないが	→ご指摘の内容は、ヒアリング調査で意見がありましたので、当該箇所を修正いたします。
課題整理 (道路空間)	P21 (2) 道路空間に関する課題の歩行者用信号が設置されていない箇所が存在しており、とあるが意見があったのか。	→ご指摘の内容は、ヒアリング調査で意見がありましたので、当該箇所を修正いたします。
課題整理 (建築物)	P21 (3) 事業者への補助金制度の充実も大切と思う。	→ご指摘の内容については、バリアフリーの基本方針(案)において、既に表現しております。
	P21 (3) 鳥取県福祉のまちづくり条例も改正となるので期待しています。	-
	P21 (3) 今後、「とっとりユニバーサルデザイン施設認証制度」もあるようです。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
	P21 (3) 建築物（施設）に関する課題：建替えの時にしか対応できないのでは。建替えを求めているのか。	→改修での対応が難しい場合は、建替え時に対応することになります。
	P21 (3) 建築物（施設）に関する課題：安全に利用できる駐車場の整備・運用の2行目に聴覚障がい者へのサービスが不十分とあるが、具体的に何が不十分なのか。	→「資料 P19/駐車場_案内設備」の部分に記載していますが、ゲート（駐車券システム）は音声案内のみであり、視覚情報が不足していること等の内容です。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
課題整理 (公園・広場)	P22 (4) 公園・広場に関する課題については、都市環境課に基準を確認のこと。どこが満たされていないのか。	→「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン(国交省 令和4年3月)」において、トイレ等を設置する場合の基準は示されていますが、トイレの設置自体の基準等はありません。ただ、地域から、トイレの確保について要望が挙がっていることから、必ずしも公園に限定せず、周辺エリアを含めて、そうした要望に応えることが求められている、ということ課題として挙げさせて頂きました。
課題整理 (心のBF)	P22 (5) 学校等教育現場では、心のバリアフリーについて、しっかり学習しているように思う。職場や地域、社会全体での学習機会の方が大切と思う。	→ご指摘の通りで、バリアフリーの基本方針(案)に取り入れたいと思います。
課題整理 (まとめ方)	アンケート結果とヒアリング調査に相関性があるか検証した方が良い。	→アンケート調査は、市民全体を対象とし、バリアフリーに関して日常的に感じている問題点や、現状の満足度、今後の重要度等について調査し、バリアフリー基本方針に市民意見を反映させることを目的としています。一方で、ヒアリング調査は交通事業者と関係団体を対象に実施し、交通事業者に対しては、バリアフリー化の対応状況や実施する上での課題、今後の予定について調査することにより、現状の把握及び今後、円滑に事業を進めるために必要となる調整・施策について検討していくための材料とすることを目的としています。また、関係団体に対しては、よく利用する施設や経路、バリアフリーに関する問題点などを調査し、重点的にバリアフリー化が必要な地区や整備内容についての調査を目的としています。このように、アンケート調査とヒアリング調査では、調査対象や設問内容が異なることから、相関性を検証することは出来ませんが、調査結果として意見が共通する内容については、マスタープランの中で強調表現したいと思います。
課題整理 (まとめ方)	課題をハードとソフトに分類し、コストやスペースの問題で長期的な計画が必要なハード対策と内容によってはすぐに解決するソフト対策に分け、必要性が高く優先度の高いものはロードマップを示した方が良い。	→課題の分類は色々な方法があると思いますが、今回のマスタープラン策定においては、課題内容で項目を構成する方が分かりやすいと考え、このような形としました。 →なお、対策内容の検討(ハード・ソフトの分類含む)や、ロードマップの作成は、マスタープラン策定後、基本構想作成段階で実施するよう考えております。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
課題整理 (質問)	課題解決に向けた取組を既に実施しているものがあれば紹介いただきたい（バス路線の表示等）。	→基本的には、“未実施で今後実施が求められているもの”を課題として挙げております。ただし、一部例外として、“既に実施をしているが更に強化するもの”も課題として挙げており、「UD タクシーの導入」や「心のバリアフリー教育」などがこれに挙げられます。

●議題 5：バリアフリーの基本方針（案）について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
基本方針 (ユニバーサルデザイン)	P23 バリアフリーユニバーサルデザインの考え方、とてもいいと思います。	—
基本方針 (公共交通)	JRとしては国の整備基準に基づき、当社施策との整合を図りながら整備を進めていく方針である。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、協議調整をよろしくお願いします。
	P23 バリアフリーの基本方針（案） 2. 鳥取市全域でのバリアフリー化の展開 (1) 公共交通のバリアフリー化の基本方針の文面で、安全に乗降しやすいバス停やタクシー乗場の整備を促進・休憩施設の整備を推進していくとあるができるのか。	→ハード整備等、簡単には事業実施できない内容もありますが、バス停や休憩施設の整備なども必要だと考えますので、方針として記載しています。なお、「整備を検討します」等の言い回しに修正します。
基本方針 (建築物)	P23 について、(3) の建築物のバリアフリー基本方針では、市独自の民間事業者への財政支援を検討するとなっておりますが、(1) の公共交通のバリアフリー基本方針では、市の財政支援の記載がありません。事業者ヒアリングでは予算的な課題を挙げられている状況にあります。市の財政支援は検討されないのでしょうか。（なお、県では R4 年度より、タクシー事業者が UD タクシー等を導入する際の購入経費の支援を開始する予定です。）	→各種補助制度の検討を行う旨を記載します。なお、民間施設のバリアフリー化については、市独自の補助制度が既にあるので継続していくといった記載に修正します。
基本方針 (心の BF)	心のバリアフリーの推進：コミュニケーションツールの導入や手話通訳者・要約筆記者の養成及び派遣は心のバリアフリーの位置づけでしょうか。	→その通りです。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
基本方針 (心のBF)	「スパイラルアップ」の意味を分かりやすく表示することが必要と感じる。	→専門用語については、用語集を巻末に添付したいと考えています。
	他の項目でも言えることだが、「心のバリアフリー」について、簡単な記述となっており、これでは皆あいまいなままになっている。きちんと定義してどの程度を「心のバリアフリーが達成された状態」とするのかなどを説明（資料提示）すべき。	→ここで示しているのは、あくまで「基本方針(方向性)」です。心のバリアフリーに関する具体的な施策は、マスタープランの後半(R4年度)で策定します。なお、生活関連施設や生活関連経路に関わる具体的な施策(事業)は、基本構想の中で策定します。
基本方針 (バリアフリー)	P24 おおむね5年ごとに検証を行うとあるが、上記の内容で可能なのか。	→国のガイドラインで「概ね5年ごとに評価を行うよう努める」と表現されていますので、そのように対応していきたいと考えています。
その他	駅の構内のベンチ、もう少しあれば助かりますと以前はよく思いました。今もです。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
	バスの待合場所、夏は気持ちがいいですが、寒さが厳しくなるころには待っている間、寒くてビニール(透明)等で右側だけつけていただけたら助かります。	
	高齢者は歩道橋の利用は体力的に苦痛、押しボタン式信号機による平面横断に切り替えることを強く要望する。	

●議題 6：移動等円滑化促進地区の設定（案）について

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
評価指標	<p>評価視点Ⅲ 都市機能の集積度が高い（徒歩による施設間移動が多い）：鳥取市の場合、都市機能の集積度が高く徒歩圏内であってもマイカー利用が多いのでは。</p>	<p>→最初の目的地にマイカーで訪れた後、徒歩圏内の施設等への立回り・買い回り行動をされる方は一定数いると考えます。</p>
	<p>P30 鳥取は鉄道が発達していないので 3000 人を条件にするのはどうか。旧市の郊外でも鉄道を除けば B になるところもあるのでは。例えば、バス停などを対象としてみるのも手では。</p>	<p>→まず、鉄道とバスでは、輸送能力に大きな違いがあり、これらを並列で捉えることには無理があるため、それぞれ独立した指標とすべきと考えます。 →鉄道の 3,000 人/日以上という条件は国の指針に示されたものであり、例えばこの条件を 500 人/日以上などに下げた場合、乗降客数が 10 倍以上異なる「鳥取駅(10,370 人/日)」と「気高(928 人/日)」が同じ評価になってしまい、これでは公平・公正な判断はできないと考えます。 →一方で、鳥取では、鉄道よりもバス利用者が多いという現状を踏まえ、バスに関する独立した評価指標を入れております。</p>
促進地区の候補地	<p>P26 湖山駅周辺は住宅も多く、商業施設、学校もあるが、候補地に入っていないのはなぜか。</p>	<p>→候補地の考え方は資料 P26 に示しています。湖山駅周辺は、上位関連計画において、拠点等の位置づけがないため、候補地に含めておりません。</p>
	<p>旅客施設を含まない移動等円滑化促進地区の設定も可能ということで、県立中央病院や市立病院周辺も促進地区の候補地として評価を行ってみることも必要ではないか。</p>	<p>→病院のように、多くの来訪者がある施設であっても、徒歩圏内に面的に生活関連施設が集積していない場合は、促進地区の対象外となります（そのような施設は個別でバリアフリー対応することになります）。</p>

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
促進地区の 選定結果	<p>促進地区の定義に沿ったものを選定した結果とすれば妥当なものです。どう考えてもこの2地点にしかならないと思いますので、候補地を決めてから3つの視点で選定するという手順をとらなくてもいいのではなかったか、という感想です。例えば、視点Ⅱの評価指標が2項目ありますが、この2つは「かつ」なのか「または」で国府支所周辺の扱いが変わりますが、ここがA評価の候補地と状況が全く違うのは明らかで、むしろBの評価を「高かった」としない理由がよくわかりません。</p>	<p>→優先順位の設定にあたっては、国のガイドラインにおいて、「客観的な指標やデータに基づき検証することが望まれる」とされています。今回行った評価は、促進地区(A評価)の抽出だけが目的ではなく、候補地区全体の順位づけ(≒A評価・B評価・C評価・D評価の区分)も目的の1つです。A評価の地区のバリアフリー整備が終われば、次の優先順位はB評価の地区になります。国府地区はB評価で優先順位は単独3位ですから、A評価の2地区に次いで評価が「高かった」と言えます。</p> <p>→評価指標Ⅱに挙げる2項目は、「かつ」や「または」で判断するのではなく、これらはそれぞれ独立した指標です。その理由としては、「鉄道」と「バス」では輸送能力に大きな違いがあり、これらを並列で捉えることには無理があり、公平・公正な判断ができないためです。</p>
促進地区の 範囲	<p>選定にあたっては、例えばJR鳥取駅からの距離はありますが、県庁本庁舎周辺をはじめとする中心市街地は歩いての移動が多い地域だと思いますし、また、JR鳥取駅南側の、いわゆる「駅裏」再開発地域は昭和の時代に、歩いて移動をすることを前提(当時の通産省の補助事業?)にハード面の整備されたと同ったことがあります。そのような地域の扱いなど、選定(場所を決定すること)に少し時間をかけて(意見を聞く)もよかったですのではないかと思います。</p> <p>中心市街地(鳥取駅周辺)候補地については、県民文化会館や市民会館等の文化的施設も促進地区に含めてはどうか。</p>	<p>→促進地区の具体的な範囲については、生活関連施設や生活関連経路を含めて、今後みなさんと議論していきます。</p>

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
その他	地域の選定よりも、どのように整備していくのが、どうバリアフリーを実現するのが重要ではありますが、非常に手間暇かけて選定のプロセスを踏んでおられると感じ、少し残念でしたのでご意見申し上げます。	→「どのように整備していくのか、どうバリアフリーを実現するのか」については、マスタープラン策定後、促進地区のそれぞれについて基本構想を策定する段階で検討します。
	P25 要件のうち「生活関連施設」の具体例は何か。	→想定される生活関連施設は、官公庁、教育・文化施設、保健・医療・福祉施設、商業施設、宿泊施設、公園・運動施設などになります。
	JRとしては国の整備基準に基づき、当社施策との整合を図りながら整備を進めていく方針である。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、協議調整をよろしく願います。
	鳥取市都市計画マスタープランの中でイメージはされているようだが、促進地区間の接続についても今後検討が必要である。	→促進地区間の接続については、バリアフリー法及びガイドラインにおいて方針が示されていないため、検討しておりません。
	P26 に鳥取件東部地域公共交通計画の記載がありますが、同計画は R3 年度で計画期間が終了するため、R4 年度（秋頃）に改訂予定です。このため、P26 に記載のある「主要交通結節点」「その他の交通結節点」の定義など変更となる可能性がありますので、この点ご了承ください。	→承知しました。

●第2回協議会 議題7：今後のスケジュールについて

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
パブコメ方法	意見募集にかかる周知方法はどのように考えているか。	→市の広報誌や HP への掲載、主要施設での告知などを想定しています。
パブコメ内容	まち歩き点検（宇部市参考）もパブリックコメントとしてあるといいのでは。	→マスタープラン(案)の中に、まち歩き点検の結果を入れることを検討します。
パブコメ期間	11 月から 12 月にかけて意見募集期間が設けてあるが期間が短いのではないかと。	→他事例を見ても、通常は 1 か月程度です。
その他	歩行者と自転車の分類（道幅が狭い所では特に思います）安全安心で歩くことが出来ますように考えていただければ幸いです。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。

●第2回協議会 議題8：その他 意見や要望、確認したい事項

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
公共交通の バリアフリー	鳥取商工会議所が中心となって実施している「運送業界応援プロジェクト事業」では、年に2～3校、小学校を訪問し、運送業（ここではトラック、バス、タクシー）の魅力を伝える「学校キャラバン隊」事業を行っています。この中で、タクシーやバスのバリアフリー対応についても伝えており、訪問した小学校では高い評価をいただいています。	-
道路空間の バリアフリー	バス停（バス路線など）の案内情報について 現在、鳥取市内を走るバス路線は、路線ごとにナンバリングされ運用が始まっています。このことが多くの市民、事業者等に周知され、活用されればわかりやすくなっていくのだと思いました。	-
心の バリアフリー	(感想も含めて)心のバリアフリー教育について 鳥取市内の全小学校で実施されているかわかりませんが、「ユニバーサルデザイン」についての授業をされていると聞いています。	-
バリアフリー 全般	鳥取市全部のバリアフリー化を望むところではあるが、今後順次改善されることを期待している。	→優先順位を設定し、順次進めてまいりたいと思います。
	調査項目のところでも指摘させていただいたが、きこえない・きこえにくい私たちへの視点が欠けていると感じるところがあるので、今後とも当事者の視点を大切にしながら施策を進めていただくことを希望する。 具体的な観点として、自動車やバスの運用遅延などの情報をつかむことができる。タクシーを呼ぶ（予約する）ときもきこえる人と対等にきこえない人も呼べるようにすることなどがあげられる。	→今後、事業メニューを検討する段階(基本構想段階)で、ご意見を参考にさせていただきます。
	日本語が分からない人へのバリアフリーの視点がありません。そもそもそのような人々へはアンケート調査もできませんので、この委員会で補足する必要があるのではないのでしょうか？	→ご指摘の通りに対応いたします。

意見分類	意見内容	意見への回答 及び 今後の対応方針
バリアフリー全般	手話の通訳者が少ない、緊急時の情報提供が大事、視覚も欲しいなどの声がありますが、情報端末（スマホ）を使って対応していくのがこれからのアプローチかと思います。手話の通訳者ではなく手話や字幕を表示するアプリ、緊急時の情報を翻訳するアプリ、自動精算機での視覚情報は、そもそも不要であり、スマホで決済できる仕組みがあればよいです。今後ますます人や金のない時代になりますので、新たな技術と知恵で解決しないといけません。	→ご指摘の通りで、ご提案いただいたアイデアをマスタープランに反映させていただきます。
促進地区の評価結果	高い評価を得ていますが、旧市内のこのように思います。（間違っていたらごめんなさい）	→促進地区の選定条件に基づき評価した結果です。
その他	脱炭素化に向けたまちづくり移動方法も考えるべきと思う。	→関連計画の策定において、頂いたご意見を参考にさせていただきます。
	カーボンニュートラルな考え方は鳥取市でも実現できそうに見えるが、個人の自動車移動が多いことがネックになると思う。公共交通の利便性が利用の向上にも繋がってほしい。	
	未来の子ども達に空気のきれいな鳥取を残してほしいと願います。	
	2月20日の日本海新聞にも掲載されているが、「鳥取市の通級指導整備遅れ 発達障害教室が不足」となっているとのこと。どの学校にも当たり前のこととして特別支援学級が設置されていれば、子ども達は日常のこととして捉えられていくのではないかと思います。	
	資料文書、書体について、文字が大きいのはよいかも知れないが、文字間隔も狭く、うっとうしい（読みづらい）です。明朝体を多くして、もう少しフォントを小さくし、文字間隔を広げてほしいです。	
	書面での開催にあたり、とても丁寧なわかりやすい資料作りでとても驚きました。 この後、地区の範囲の設定などがなされるようですが、第3回目の会議までかなりの時間がありますので、この度の2回目の会議の意見の提供や検討状況など、委員に対しての情報提供を、予定しておられるのかもしれませんが、丁寧に取り組んでみてはいかがでしょうか。	→今後の資料作成の参考にさせていただきます。
		→そのように取り組みたいと思います。